

算 定 方 法	告示	<p>A225 放射線治療病室管理加算(1日につき)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">1 治療用放射性同位元素による治療の場合</td> <td style="text-align: right;">6,370点</td> </tr> <tr> <td>2 密封小線源による治療の場合</td> <td style="text-align: right;">2,200点</td> </tr> </table>	1 治療用放射性同位元素による治療の場合	6,370点	2 密封小線源による治療の場合	2,200点
	1 治療用放射性同位元素による治療の場合	6,370点				
2 密封小線源による治療の場合	2,200点					
通知	<p>注1 1については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長等に届け出た病室において、治療上の必要があつて放射線治療病室管理が行われた入院患者(第1節の入院基本料(特別入院基本料等を含む。))又は第3節の特定入院料のうち、放射線治療病室管理加算を算定できるものを現に算定している患者であつて、治療用放射性同位元素による治療が行われたものに限る。)について、所定点数に加算する。</p> <p>2 2については、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長等に届け出た病室において、治療上の必要があつて放射線治療病室管理が行われた入院患者(第1節の入院基本料等を含む。))又は第3節の特定入院料のうち、放射線治療病室管理加算を算定できるものを現に算定している患者であつて、密封小線源による治療が行われたものに限る。)について、所定点数に加算する。</p> <p>放射線治療病室管理加算は、悪性腫瘍の患者に対して、必要な放射線治療病室管理を行った場合に算定する。なお、放射線治療病室管理とは、治療用放射性同位元素あるいは密封小線源による治療を受けている患者を入院させる病室における放射線に係る必要な管理をいう。</p>					